

愛犬とこれからも



ずっと一緒に

過ごすために



愛犬を飼っている皆さんは、「近所の人に迷惑を掛けないように散歩するには、どうすればいいの?」「もしも自分の身に何か起きた場合はどうしよう…」など気になっていることはありませんか? 散歩の時のマナーや、いざというときに役立つ情報をお知らせします。
【問】生活衛生課 ☎603-8310

マナーを守って めげせ!愛され犬 お散歩マナーを再確認

犬にとって散歩は、ストレスや運動不足の解消にとっても大切です。しかし、地域には犬が苦手な人や糞尿に困っている人もいます。愛犬が嫌われないよう、お散歩マナーをしっかりと確認しましょう。

トイレタイムは散歩の前に

家の近くや敷地内に排せつされると、誰でも嫌な気持ちになります。散歩をする時は、必ずごみ袋や水を入れたペットボトルを持ち、糞を持ち帰る、尿に水をかけるだけでなく、今は、一歩進んで「散歩をトイレタイムにしない」のがマナー。散歩前にトイレを済ませれば、周囲の人を不快にさせることも減り、安心して愛犬と散歩することができます。

リードは犬と人をつなぐ愛情の証し

「うちの犬はリードを付けなくても大丈夫」は過信です。普段おとなしい犬も驚いて誰かをかんだり、子どもや高齢者が、興奮した犬に驚いて転び、けがをすることも。そんなとき、「自分は悪くない!」では通用しません。しっかりとリードを付けて、安全に散歩することが、本当の愛情です。

こんな時に事故が起こっています

- 子どもだけで犬と散歩していて、突然走り出した犬を押さえられなかった
- 伸縮するリードをつけて散歩していたら、通行人をかんでしまった
- 複数の犬を同時に散歩していて、1頭が暴れたのに気を取られ、他の犬のリードを放してしまっ

散歩前にトイレを済ませるコツ

- 室内犬は、ペットシートに排せつするようにしつける
- 散歩前に、自宅の庭などで排せつするのを習慣にする



安全に散歩するポイント

- 散歩をする時は必ずリードを付け、短く持つ
- 犬と飼い主との距離は1m以内が目安
- 人とすれ違う時は、しっかりとリードを押さえる
- 人や犬に興味が強い犬は、なるべく人が多い場所や時間帯を避けて散歩するなどの工夫を



狂犬病の予防接種を受けましょう

☎ 1001666

現在、国内で狂犬病がほとんど見られないのは、飼い犬への予防接種を徹底してきたためです。これからも安全・安心に過ごすために、毎年必ず予防接種を受けましょう。

動物病院で接種する場合

4月1日頃に市が送るはがきを持参の上、接種してください。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、予約をとる、事前に電話で混雑状況を確認するなど、ご協力をお願いします。

表のとおり

各動物病院にお問い合わせください

集合注射について

令和3年度は、例年4・5月に実施する集合注射は実施しません。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、実施する場合は改めて市ホームページなどでお知らせします。

表 動物病院の一覧

病院名	所在地	電話
松園動物病院	西松園四丁目20-2	661-0500
緑が丘動物病院	上田堤一丁目5-13	661-1122
ちば動物病院	みたけ四丁目8-55	641-2099
らいおん動物病院	みたけ六丁目3-3	645-0688
川原動物医院	月が丘三丁目31-5	641-2372
金子動物病院	西青山二丁目29-59	647-6322
せき動物病院	青山一丁目9-3	681-6223
ペット往診センター	山岸二丁目12-12	623-2656
加賀野どうぶつ病院	加賀野三丁目17-3	623-1838
ひがしペットクリニック	上田一丁目3-42	626-1417
ムカイダ動物病院	長町10-30	653-1861
その動物病院	南大通三丁目7-5	624-5368
あすか動物病院	本宮三丁目14-15	635-0600
盛岡グリーン動物病院	北飯岡三丁目4-38	601-6644
横井動物病院	中野一丁目29-12	654-8866
南大橋動物病院	東安庭二丁目2-7	621-1255
盛岡どうぶつ病院	津志田町三丁目1-13	638-1299
吉田動物病院	津志田中央三丁目12-20	639-3330
ワンちゃんPointクリニック	永井20-2	618-6981
大志田動物医院	永井25-1	638-5556
たんぼぼ動物病院	東見前8-20-5	614-2323
かわむら動物医院	好摩字上山18-20	682-0955

災害にあったら 自分が病気になったら

愛犬はどうする?

災害時や新型コロナウイルス感染症に感染した時など、もしもの時について、相談が増えています。多く寄せられる質問にお答えします。

Q. 最近、自然災害が増えています。避難が必要な時、愛犬はどうしたらよいですか?

A. 避難する場合は犬と一緒に避難すること(同行避難)が基本。自分自身とペット両方の安全のため、避難所や車内で生活するなど、避難時のさまざまな過ごし方を事前に考えておくことが大切です。また、右のチェックリストのような日頃の備えが、いざという時に役立ちます。

できていますか?

日頃の備えチェックリスト

- ペット用非常袋を準備している
- 避難場所と行き方を事前に確認している
- 迷子札を付けている
- ペット移動用バッグやケージに慣らしている
- 他の人や動物にほえたり攻撃しないようしつけている
- 不妊・去勢手術をしている
- ワクチン接種やノミ・ダニ駆除などが済んでいる

ペット用非常袋の中身の例

- ・ペットフードと水(5日間分以上)
- ・薬、療法食 ・食器 ・トイレ用品
- ・タオルやペットシート
- ・予備の首輪とリード
- ・ごみ袋 ・ガムテープ(ケージの補修などに)
- ・ブラシなどのお手入れ用品

☞迷子になった時などに備えて、次の物も用意しておくとう安心です

- ・飼い主の連絡先を書いたメモなど
- ・ペットの写真
- ・健康状態の記録やワクチン接種証明

これで安心だワン!



Q. 家族全員が、新型コロナウイルス感染症に感染して入院が必要になった時、犬を預ける場所や、預け方を教えてください。

A. 親族や知人、かかりつけの動物病院やなじみのペットホテルなど、犬の世話を頼める人や預かってくれる場所を探しておきましょう。また、現時点で、新型コロナウイルス

感染症がペットを介して人に感染したという報告はありませんが、預ける場合は、消毒を徹底するなどの感染防止対策をしましょう。



ペットを預ける時の注意点など

- 事前に受け渡し時間を決める
- 時間に合わせて飼い主がペットをペット用移動バッグなどに入れて玄関先に置く。預かる人を住居内にはできる限り入らせず、直接対面による会話も控える
- 受け渡し前に、持ち手などのペット移動用バッグの表面をアルコール消毒する



ペットを預ける時の不安な点など詳しくは、生活衛生課までお問い合わせください



ペットを預かる時の注意点など

- 預かる人は、マスクと使い捨て手袋、すぐに洗える服装(または市販されている感染症対策の使い捨てガウン)、大きなビニール袋、アルコール消毒薬を用意する
- 車で運ぶ時はペット移動用バッグが座席に直接触れないよう、バッグの下にビニール袋などを敷く
- 自宅に着いたら預かったペット用移動バッグの表面と内側をアルコールで消毒。使い捨てのものはすぐ処分し、手洗い、手指のアルコール消毒をする。預かってすぐにペットをシャンプーすると安心
- 他のペットと接触しないよう、専用の部屋やケージなどで世話をする

Q. ペットを預けるときに用意しておくの良いものは?

A. 預けるときは、次のものがあると便利です。

ペットの詳しい情報をまとめたメモ

☞名前や年齢、性別、不妊・去勢手術の有無、マイクロチップの有無、性格、健康状態、かかりつけの動物病院の他、ご飯の時間や好きなおやつ、苦手な食べ物などの注意点を書いておきましょう

いつも食べているペットフードやタオル、トイレ用品などの必需品

☞災害時の「ペット用非常袋」が、ペットを預ける時にもそのまま使えます

